

音楽科学習指導略案

6年1組 29名 指導者 福留 三穂

1 題材 いろいろなひびきを味わおう

「星空はいつも」 芙龍明子作詞／浦田健次郎作曲
 「ラバース コンチェルト」 デニー ランデル・サンデー リンザー作曲／石桁冬樹 編曲
 「リズム伴奏づくり」
 「組曲『王宮の花火の音楽』から 歓喜」 ヘンデル作曲

2 指導計画 (総時数7時間)

主な学習活動【評価規準】	〔共通事項〕	時間
<p>1 題材「いろいろなひびきを味わおう」の題材で、歌声や楽器の音が重なり合う響きを感じたり、きれいな響きを求めて演奏したりする学習に取り組むことを知る。</p> <p>星空はいつも</p> <p>2 範唱を聴いて曲の感じをつかみ、表情豊かに二部合唱する。 【創：歌詞の表す雰囲気を感じ取って、表情豊かな歌い方を工夫している。】</p> <p>3 副次的旋律を重ね、美しい響きを工夫して演奏する。 【技：歌と楽器の重なりが生み出す響きのよさを感じ取り、美しい響きになるように演奏している。】</p> <p>歌詞をよく読んで情景を想像させることで、曲想に合った歌声について話し合わせる。また、旋律の音が飛躍するとき、歌声の出し方を工夫させて歌わせることで、響きを感じられるようにする。</p>	<p>音の重なり (歌声) 旋律 (特徴を感じ取る)</p> <p>音の重なり (歌声と楽器)</p>	<p>1</p> <p>1</p>
<p>ラバース コンチェルト</p> <p>4 楽譜を見て、①～④のパートの特徴や役割について話し合い、それぞれのパートにふさわしい楽器を選んで練習する。 【技：重なり合う旋律や楽器の音の響きを感じ取って、表情豊かに演奏している。】</p> <p>5 全体の響きを考えて、楽器の組み合わせ方を工夫して響きの変化を楽しんで演奏する。 【創：音色や音量のバランスに気を付け、重なり合う美しい響きをめざして演奏の仕方を工夫している。】</p> <p>子どもが感性を生かしながら、好ましい音色や音量のバランスについて考えることができるように、意見や考えを発表し、互いに交流し合う場を設定するようにする。</p>	<p>音色 音の重なり (楽器と楽器) 旋律 (特徴を感じ取る) b (フラット) へ音記号</p>	<p>1</p> <p>2</p>
<p>リズム伴奏づくり</p> <p>6 自分たちのイメージに合うリズム伴奏を加える。 【関：リズム伴奏の組み合わせがもたらす美しい響きを求めて表現する学習に、主体的に取り組もうとしている。】</p> <p>自分たちの演奏を録音して鑑賞する活動を取り入れて、リズム伴奏の音色や音量について話し合わせることで、さらによりよい演奏にするにはどのようなことに気を付けていけばよいかを考えさせるようにする。</p>	<p>リズム 反復 変化</p>	<p>1</p>
<p>歓喜</p> <p>7 楽器の組み合わせによる響きの違いを感じ取りながら聴く。 【鑑：楽曲の構成や音色の変化に気を付けて聴き、楽器の組み合わせ方がもたらす曲想や響きの変化を感じ取って聴いたり、曲の特徴を友達に伝えたりしている。】</p> <p>楽器の組み合わせによる響きの違いを、身体表現したり、図形や言葉などで表現したりして、交流させることで、表現する楽しさや鑑賞する喜びを味わうことができるようにする。</p>	<p>旋律 (音の動き) 音色 (弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器)</p>	<p>1 (本時)</p>

3 本時 (7/7)

(1) 目標

楽器の音色やその組み合わせ方がもたらす曲想や響きの変化を味わいながら聴くことができる。

(2) 評価規準

楽曲の構成や音色の変化に気を付けて聴き、楽器の組み合わせ方がもたらす曲想や響きの変化を感じ取って聴いたり、曲の特徴を友達に伝えたりしている。 【鑑賞の能力】




(3) 指導に当たって

「つかむ」過程では、前学年で学習した鑑賞教材を活用して、演奏の形態には、吹奏楽と弦楽合奏があることを想起させ、それぞれの響きを楽しませるようにする。「見通す」過程では、学習の進め方について話し合うとともに、鑑賞する観点や鑑賞後の活動内容を具体的に確認させることにより、子どもが主体的に鑑賞できるようにしたい。「追究する」過程では、初発の感想を多く引き出し、互いの思いを共有させ、様々な感じ方に気付かせたい。また、グループと全体の場において、意見を交流する活動を充実させることで、楽曲の構成や楽器の音色、響きの変化に関心をもって聴けるようにさせたい。「磨き合う」過程では、全体をじっくり味わって聴く場を設定したり、学習を通して感じたことや考えたことを発表するなど言語活動を充実させたりすることで、いろいろな音が重なり合うことによって生み出される響きを味わうことのよさや面白さを感じさせるようにする。「振り返る」過程では、本時のめあてをもとに自己評価

や相互評価をさせ、楽器の組み合わせによる響きの違いを感じ取りながら聴くことができるようになったことを実感させたい。

(4) 本時の展開

[] 子どもの意識 □ 教師の手立て ※評価

時	過程	主な学習活動と教師の手立て・評価	
8	つかむ	<p>1 「双頭のわしの旗の下に」「アイネクライネナハトムジーク」を鑑賞して、それぞれの合奏の響き感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 吹奏楽と弦楽器が入った合奏とでは、音楽の感じが違うね。 たくさんの音の重なりを感じたよ。 	<p>「音タイム」で、前学年の鑑賞教材を活用して、音楽の感じや楽器の組み合わせによる響きの違いについて話し合わせることで、本時の学習とも関連があることを知らせる。</p> 
		<p>2 学習課題と追究方法を確かめる。</p> <p>楽器の組み合わせによって、どのような響きの違いがあるのか聴こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> どんな感じの曲なのだろう。 どんな楽器で演奏されているのだろう。 	<p>音が重なり合う響きを感じるには、曲の構成や楽器の音色に関心を持ちながら聴くことが大切であることを知らせる。また、曲の感じや響きの違いを言葉や図形で表したり、身体表現したりすることで、自分の思いが伝わりやすくなることを確認する。</p>
22	見通す	<p>3 学習の進め方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 演奏している楽器に注目して聴くとよさそうだね。 いくつの場面に分けられるのだろう。 曲の感じを図形で表したいね。 曲のおすすめポイントをみんなに発表したいな。 	<p>響きが変化したところや楽器の編成について全体で確認した後、グループごとに意見を交流させる活動を取り入れることで、楽器の組み合わせによる響きの違いを感じ取ることができるようにする。</p> 
		<p>4 「歓喜」を聴く。</p> <p>(1) 曲全体の流れをつかんだり、聴いた感想を話し合ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 弦楽器や金管楽器で演奏されているよ。 途中から、楽器の音色が変わったよ。 はじめて聴いた旋律が、また後から演奏されているようだ。 <p>(2) 楽器の音色や重なり合う音の響きをかめながら聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回目の弦楽器だけの演奏は、やさしい響きだね。 2回目に演奏する楽器は、あたたかな音色だね。 3回目の旋律は、演奏される楽器が増えていて、響きが広がった感じがするよ。 図形で表すとこんなになるよ。他のグループと同じところや違うところがあるね。 	<p>※ 楽曲の構成や音色の変化に気を付けて聴き、楽器の組み合わせ方がもたらす曲想や響きの変化を感じ取って聴いたり、曲の特徴を友達に伝えたりしている。 (発言や記述)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽を主体的に感じ取り、自分の思いや意図と音楽の要素を関連させながら表現している子どもには、さらに、他の音楽の要素に着目しながら聴いたり表現したりすることができるように助言する。 ○ 活動が停滞している子どもには、響きの違いを感じ取りながら聴けるように、聴く観点をもう一度確認して、楽器の音色や音の重なりを図形や体の動きで一緒に表現することで、響きの変化を意識させるようにする。 </div>
12	追究する	<p>5 楽器の音色や響きの変化、曲想の違いを味わって聴き、「曲のおすすめ」を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽器の音が重なり合って、だんだん曲の感じが盛り上がっていくところがいいな。 ホルンが入った旋律があるから、最後の旋律が、より響いて感じられるね。 オーケストラで演奏すると、同じ旋律でもいろいろな響きを感じられるね。 友達の「曲のおすすめ」を聞くと、曲のよさをもっと感じられたよ。 響きが変わっていくところが、ラバースコンチェルトと似ているね。 	<p>楽器の組み合わせや曲想の変化に気を付けて聴いたことで、響きの違いをどのように感じたか振り返らせ、それらを「曲のおすすめ」として紹介させるようにする。</p>
		<p>6 本時の学習を振り返るとともに、今後の学習について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いろいろな音が重なり合うと、響きの変化を感じたり、いろいろな雰囲気を楽しんだりすることができる。</p> </div>	<p>学習のめあてをもとに学習を振り返らせ、いろいろな音が重なり合う響きを感じ取ったり、きれいな響きになるように演奏の工夫を工夫したりする活動に更に意欲をもてるようにする。</p> 
3	振り返る		